

Panasonic

“でんきや”である前に、
“彰ちゃん”です。



「彰ちゃん、洗濯機が動かん」

「彰ちゃん、スマホがおかしなことになった」

「彰ちゃん、お風呂場が寒くて」

僕のところには、さまざまなSOSが寄せられます。

ときには引越しのお手伝いをすることもあります。

お困りのことがあったら、スルーなんてできない。

何とかして差し上げたい、と思うのです。

うちの店はおよそ40年前、この街が開発されたとき、

街で初めてのでんきやとして父と母が創業しました。

幼い頃から父母にくっついてお客さまのところに

伺っていた僕は、どんなことにも

親身にお応えしようとする

ふたりの姿を見て、でんきやを志しました。

人の暮らしに近いところで、

その人のために、汗を流す。

人を想う気持ちこそ、僕たちの仕事の原点。

最近はSNSでのご相談など新しい試みも

始めているのですが、この根っこだけは絶対に変えない。

お客さまがパッと笑顔になる瞬間が見たくて、

僕は、いつでも気軽に声をかけてもらえる

「親戚みたいな彰ちゃん」であり続けます。

時代は変わろうと、
お客さまを想う気持ちは
変えません。

埼玉県深谷市 S-LINK クボデンカミシバ

店長 久保 彰平 しょうへい



パナソニックの店

お近くの店を検索していただけます→



「街のでんきやさん」は、そばにいる。